

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい とう
高崎市国際交流協会会報第113号

2023.12

◆トピックス(2023年10月~11月)

■第31回国際交流の集い

10月29日、ビエント高崎で第31回国際交流の集いが開催され、約1800人の来場者で賑わいました。今年もJOMO JETのインターナショナルカーニバルと同時開催で、会場中央にアメリカ、イギリス、カナダ、中国、フィリピンなど9つの国や文化を紹介するブースが設置されました。その周りには書道体験や台湾茶芸、ハナアート・ヒジャブ試着体験など16の文化体験ブースが並び、会場内外にはタイ、パラグアイ、ルーマニアなど各国の料理店が出店しました。ステージでは朝鮮舞踊、日本舞踊、ALTによるダンス、バンド演奏、

タイ舞踊、スリランカの歌が披露され会場を盛り上げました。今年は初めて外国人による日本語スピーチ大会も行われ、6人が「日本人に伝えたい事」をテーマに意見を述べ、審査員の高校生3人がそれぞれのスピーチ内容にあった賞を考え、表彰しました。フィナーレでは全員で「マカレナ」を踊り会場が一体となりました。来場者からは「たくさんの文化体験ができてとても楽しかった」「コロナ前のように来場者もたくさんいて賑やかで良かった」などの声が寄せられました。

(国際交流の集い実行委員会)



インターナショナルバザーも行われ、売上金22,230円は、プラン群馬の会を通して「プラン・インターナショナル・ジャパン」と高崎青年会議所を通して「Smile by Action」へ2分の1ずつが寄付されました。



11月5日に高崎シティギャラリーで行われた合同茶会(高崎市・高崎茶道会主催)に、在住外国人2名が参加し4つの流派のお茶席を体験しました。参加者は茶道の先生から作法についての説明を受けた後、自分でお茶を点て和菓子と共にお茶を楽しみました。

参加者からは「流派によってお菓子をいただく順番が違うことがわかり面白かった」「兔柄の器などが多いことに気づき、その理由を先生に尋ねたら今年が兎年だからだと教えてもらった。自分でお茶を点てるのも楽しかった」などの感想が寄せられました。(事務局)



にほんご
日本語ボランティアステップアップ研 けん

しゅう
 修

日本語を母語としない人たちの日本語学習を手伝うボランティアを対象とした研修が、11月5日、12日、19日の計3回行われました。5日の講師は日本語教師で中居公民館の日本語学習ボランティアとしても活動している大谷惣一郎さんで、「教材の使い方」について話しました。12日はぐんま外国人総合相談ワンストップセンターベトナム語相談員、ホアン・グエン・フォン・タオさんで、「第二言語として日本語を習得しての経験」について話しました。両日も講義の前には自己紹介ゲームをしてボランティア同士の交流も行われました。19日はボランティアと学習者の交流会でした。参加者は自分が好きなお菓子を持ち寄り、それぞれのお菓子を紹介しシェアしながら食べました。家族連れの参加者もいて、ビンゴゲームをしたり会話を楽しんだり終始なごやかな雰囲気でした。

参加者からは「経験談を交えた話がともて参考になった」「日本語を習得した外国人から日本語教育についての話が聞けて勉強になった」「交流会はいつもの日本

語教室と違った雰囲気、たくさん話ができ楽しかった」などの感想が寄せられました。

(コミュニケーション支援部会)



あき にほんご きょうしつ
秋の日本語教室

9月5日から11月25日まで秋の日本語教室が開催され、41人の支援者が71人の学習者の学びを手伝いました。71人の学習者はそれぞれの目標に向かって、支援者の助けを得ながら熱心に学習に取り組みました。

(コミュニケーション支援部会)

■国籍別学習者数

中国	12	パキスタン	2	ネパール	1
ベトナム	11	イギリス	2	モロッコ	1
フィリピン	8	カメルーン	2	カナダ	1
インドネシア	8	ブラジル	2	スリランカ	1
アメリカ	6	マレーシア	1	台湾	1
インド	3	南アフリカ	1	スペイン	1
タイ	3	オーストラリア	1	ギニア	1
メキシコ	2	22カ国71人(対面57人、オンライン14人)			



◆おしらせ(2023年12月~2024年2月)

■外国人のための法律相談

弁護士、行政書士、社会保険労務士に通訳付きで相談ができます。予約優先ですが、当日申し込みもできます。

●日時=12月17日(日曜日)午前10時~午後3時 ●場所=中央公民館 集会ホール(末広町) ●通訳=英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語 ●費用=無料 ●予約・問い合わせ=ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター(電話027-289-8275)

■子ども日本語学習支援ボランティア養成講座

今、地域には日本語が母語でない子どもが増えています。日本で働くことになった親についてきた子、家庭内の会話が日本語でない環境で育った子など理由は様々です。そして、生活や友達とのコミュニケーションにも困っている子から、普段の生活は大丈夫でも教科学習についていく日本語力がない子など、日本語レベルも様々です。そんな子どもたちが日本社会で明るい未来を描き、たくましく生きていけるように、子どもの日本語学習を支援するボランティアを養成します。



●日時=2024年1月20日、2月10日、17日、3月2日の土曜日、全4日間 午前10時~午後4時 ●場所=中央公民館(末広町) ●講師=松田デレク氏(群馬大学国際センター講師) ●内容=外国につながる子どもたちへの日本語学習支援の方法について学ぶ ●対象=子どもの日本語教育に関心がある人で、講座終了後、高崎市国際交流協会のボランティアとして、子どもの日本語学習支援にたずさわられる人。なお、日本語学習支援は、直説法(日本語を日本語だけを使って支援する)を用いるため、外国語会話能力の有無は問いません ●定員=20人(選考) ●受講料=1,000円(ボランティア登録時には協会年会費2000円) ●申込=12月22日(金曜日)までに所定の申込用紙を記入して事務局へ持参または郵送

■冬の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループかマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。

●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円 ※オンラインは無料 ●申込=開講日の1週間前までに事務局へ電話または協会ホームページから(教室の状況により、お断りする場合があります)

教室名	コース名	時間	期間
中央公民館	火曜日	午前10時~11時30分	1月9日~3月12日
	木曜日	午後7時~8時30分	1月11日~3月21日
	土曜日	午後1時30分~3時	1月13日~3月16日
中居公民館	水曜日	午後6時30分~8時	1月10日~3月13日
群馬福祉会館	月曜日	午後7時~8時30分	1月15日~3月25日
新町文化ホール	水曜日	午前10時~11時30分	1月10日~3月13日
	土曜日	午前10時~11時30分	1月13日~3月16日
オンライン	曜日・時間は相談してください。1回40分です。		

COOL TAKASAKI はっしん しぎょう しんしゅんえんそうかい 発信事業 ~新春演奏会~

バイオリニスト・松橋瑞穂さん（高崎市出身）と、ピアニスト・黒沢真木子さん（藤岡市出身）によるクラシックコンサートを開催します。演奏終了後には演奏者に質問する機会もあります。

●日時=2024年1月13日（土曜日）午前10時～12時 ●場所=中央公民館視聴覚集会室（末広町） ●費用=無料 ●定員=50人（先着） ●申込=件名に「COOL TAKASAKI」、本文に名前、電話番号を書いて、2024年1月12日までにメールで事務局まで

●COOL TAKASAKI とは COOL な高崎の人、場所、イベントを紹介して参加者に SNS で広めてもらう事業です

Program (変更となる場合もあります)

1. ロマンズ第2番：L. ベートーヴェン
2. エル・チョ・クロ：A. ビジョルド
3. 日本の郷愁メドレー 故郷～夕焼け小焼け～赤とんぼ
休憩
4. トロイメライ：R. シューマン
5. 幻想即興曲：F. ショパン
6. G線上のアリア：J. S. バッハ
7. ツィゴイネルワイゼン：P. サラサーテ



陶芸体験交流会

●日時と内容=①成形 2024年1月27日（土曜日）午前10時～12時 ②削り 2024年2月3日（土曜日）午前10時～12時 ●場所=高崎学びの森陶芸教室（高関町） ●対象=市内在住・在勤者及び国際交流協会会員で2日間参加できる人 ●定員=10人（先着）※複数名での申込希望の場合は事務局にご相談ください ●費用=無料（陶芸体験料2,000円は各自教室へ支払う） ●服装=汚れてもよい服またはエプロン持参 ●申込=件名に「陶芸体験交流会」、本文に名前（ふりがな）と電話番号を書いて、2023年12月20日（水曜日）から2024年1月19日（金曜日）までにメールで事務局まで



世界のエンターテイメント

●日時=2024年2月3日（土曜日）午後1時30分～4時 ●場所=中央公民館集会ホール（末広町） ●定員=200人（抽選） ●費用=無料 ●申込=往復はがきに住所、参加者全員の氏名、電話番号、「世界のエンターテイメント参加希望」と書いて、2024年1月19日（金曜日）までに事務局まで。または協会ホームページ、Facebookのお知らせに掲載のGoogle Formから

♪プログラム(予定)♪

- ベリーダンス
- フラメンコ
- インド舞踊
- ペルーダンス



■2018年1月 開催時の様子

行ってみよう!

外国にゆかりのあるところ in たかさき

高崎市内の外国にゆかりのある場所やそれにまつわる人を紹介します。

第4回

しょうりんざんだる ま であら
少林山達磨寺

せんしんてい
洗心亭



写真左：洗心亭
写真右：囲炉裏のある4畳半の部屋

少林山達磨寺の境内にある洗心亭は 1934 年 8 月 1 日から 1936 年 10 月 8 日までの 2 年 3 ヶ月間、近代ドイツの世界的建築家ブルーノ・タウトが妻のエリカと住んでいたことで知られています。タウトはナチスドイツの台頭を避け、エリカと共に国外へ脱出し 1933 年に来日しました。来日して約 1 年は日本の伝統建築や文化を見聞し、仙台の工芸指導所に嘱託として勤務します。その後井上房一郎の招きで群馬県工業試験場高崎分場嘱託となり、洗心亭に移り住みました。

別荘としての利用を想定し設計された平屋の建物は、床の間付きの 6 畳間と囲炉裏のある 4 畳半の和室・回り廊下・土間の台所・トイレの簡素な作りで、わずか 45 m²の広さしかありません。水道はなく水を運んで使用し、風呂はお寺で借りていました。夏の暑さや冬の厳しさの中、暮し難さはありましたが、ふるさとのドイツに似た眺望は素晴らしく、夫妻は自然に囲まれた「侘び住まい」を楽しみました。

彼らは毎日鼻高の丘陵地帯を散歩し、言葉は通じなくても、地元の農家を訪れ、その暮しを見てまわり交流を深めました。十分な生活費も無く持ち込んだお金を取り崩していても、碓氷川の洪水で被害を受けた地

区には見舞金を贈りました。

タウトは日本では建築の仕事をする機会には恵まれませんでしたが、数々の家具や工芸品をデザインし、横山秀夫の『ノースライト』で話題になった緑の椅子の試作品も作りました。また、関西や東日本を旅行し、『日本文化私観』『日本の家屋と生活』などの著作を通じ、日本文化の素晴らしさと日本建築の美しさを世界に広めました。

しかし、1936 年にトルコからの建築家としての招聘に応じ、心を残しながらも日本を去りました。

少林山境内には「タウトの思惟の径」というタウトに思いをはせる散策路があり、また資料館も出来る予定です。
(広報宣伝部会)



